

# 大垣市青少年健全育成計画策定に関する資料

大垣市教育委員会社会教育スポーツ課

# 目 次

## 1 大垣市の現況

1-1. 大垣市における世帯数及び人口	1
1-2. 子どものいる世帯数の推移	1
1-3. 大垣市における年齢別人口の推移 (年少人口・生産年齢人口・老年人口)	2
1-4. 大垣市における年齢別人口	3
1-5. 幼稚園の状況	4
1-6. 小学校の状況	5
1-7. 中学校の状況	6
1-8. 大垣市教育総合研究所における内容別相談件数	7
1-9. 大垣警察署管内の少年の検挙・補導状況	8
1-10. 大垣警察署管内の刑法犯少年の学職別状況(平成21年中)	8

## 2 大垣市教育振興基本方針策定のための市民アンケート

### 調査結果～抜粋～

2-1. 調査目的	9
2-2. 調査結果概要	9
2-3. 調査対象の属性	9
2-4. 調査結果と分析	10
2-5. 教育に対する課題、今後の進むべき方向性などについての 主なご意見・ご提案	14

## 3 大垣市の家庭教育・青少年健全育成関係事業の現況

3-1. 子育て支援	18
3-2. 青少年健全育成	21
3-3. 生涯学習	24

# 1 大垣市の現況

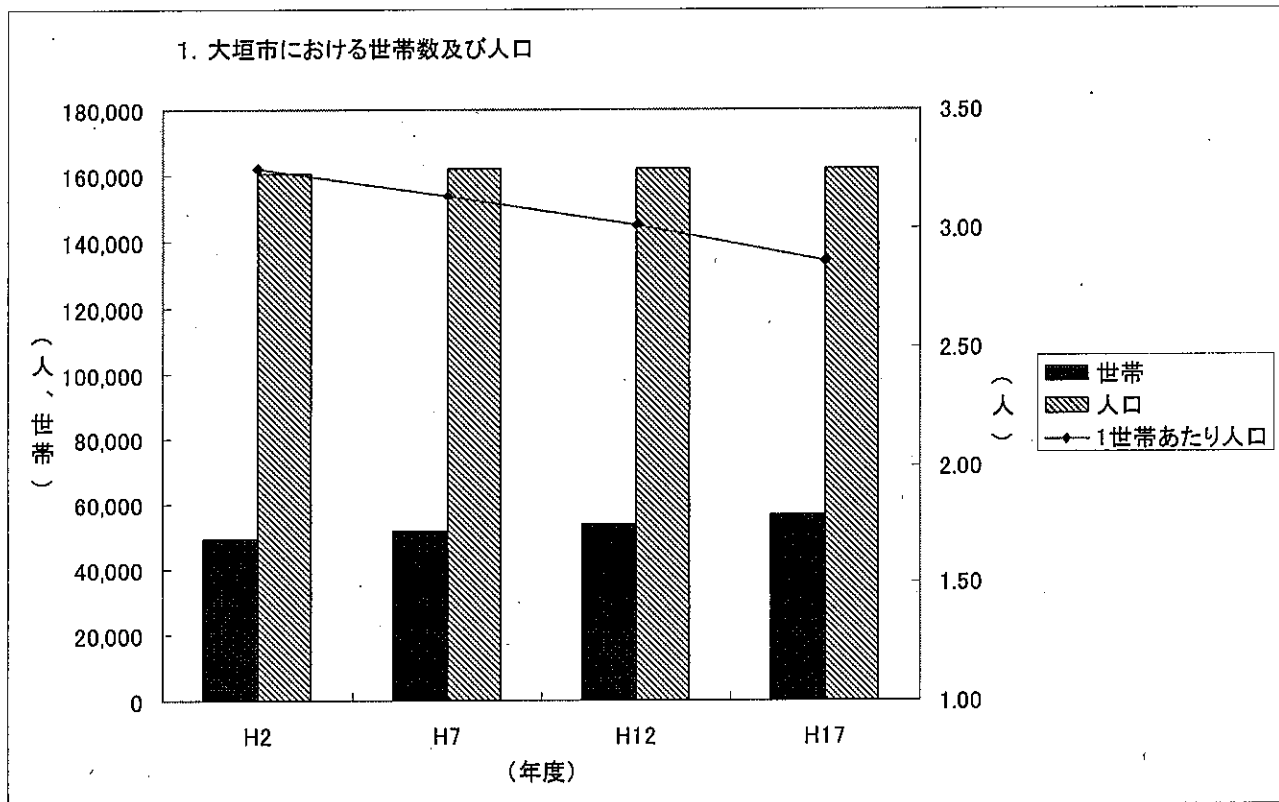
## 1-1. 大垣市における世帯数及び人口

(単位：世帯、人)

区分	H2	H7	H12	H17
世帯	49,315	51,696	53,694	56,668
人口	160,483	161,679	161,827	162,070
1世帯あたり人口	3.25	3.13	3.01	2.86

(注) 旧2町を含む

(資料：国勢調査)



## 1-2. 子どものいる世帯数の推移

(単位：世帯、人)

区分	H2	H7	H12	H17
大垣市の世帯 (全体)	49,315	51,696	53,694	56,668
大垣市の一般世帯	49,246	51,618	53,621	56,501
18歳未満親族のいる一般世帯	20,586	18,223	17,358	16,749
6歳未満親族のいる一般世帯	7,583	7,290	7,466	7,227

(注) 旧2町を含む

(資料：国勢調査)

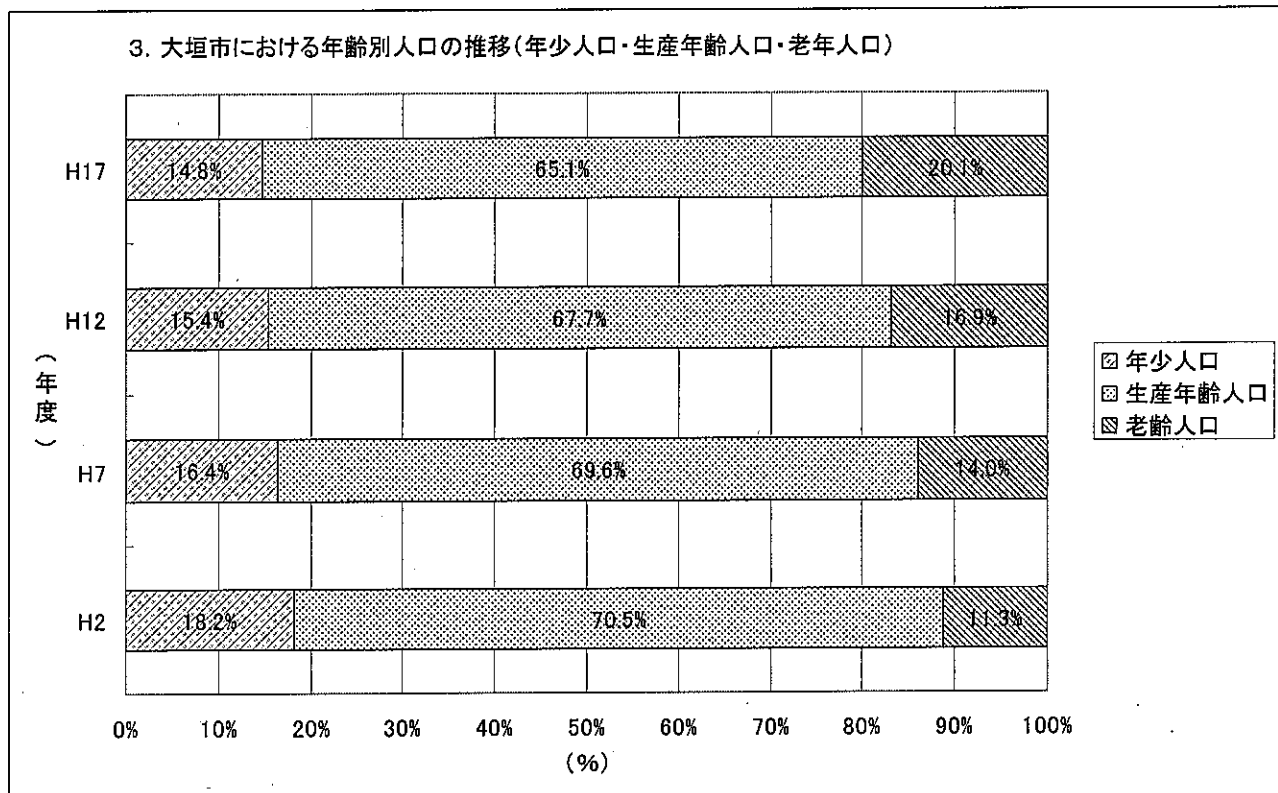
1-3. 大垣市における年齢別人口の推移（年少人口・生産年齢人口・老年人口）

(単位：人)

区分	H2	H7	H12	H17
年少人口（0～14歳）	26,982	24,561	23,127	23,921
生産年齢人口（15～64歳）	104,559	104,181	101,694	105,517
高齢人口（65歳以上）	16,699	21,015	25,406	32,512
年齢不詳	41	2	19	120
合計	148,281	149,759	150,246	162,070

(注) 平成17年は旧2町を含む

(資料：国勢調査)



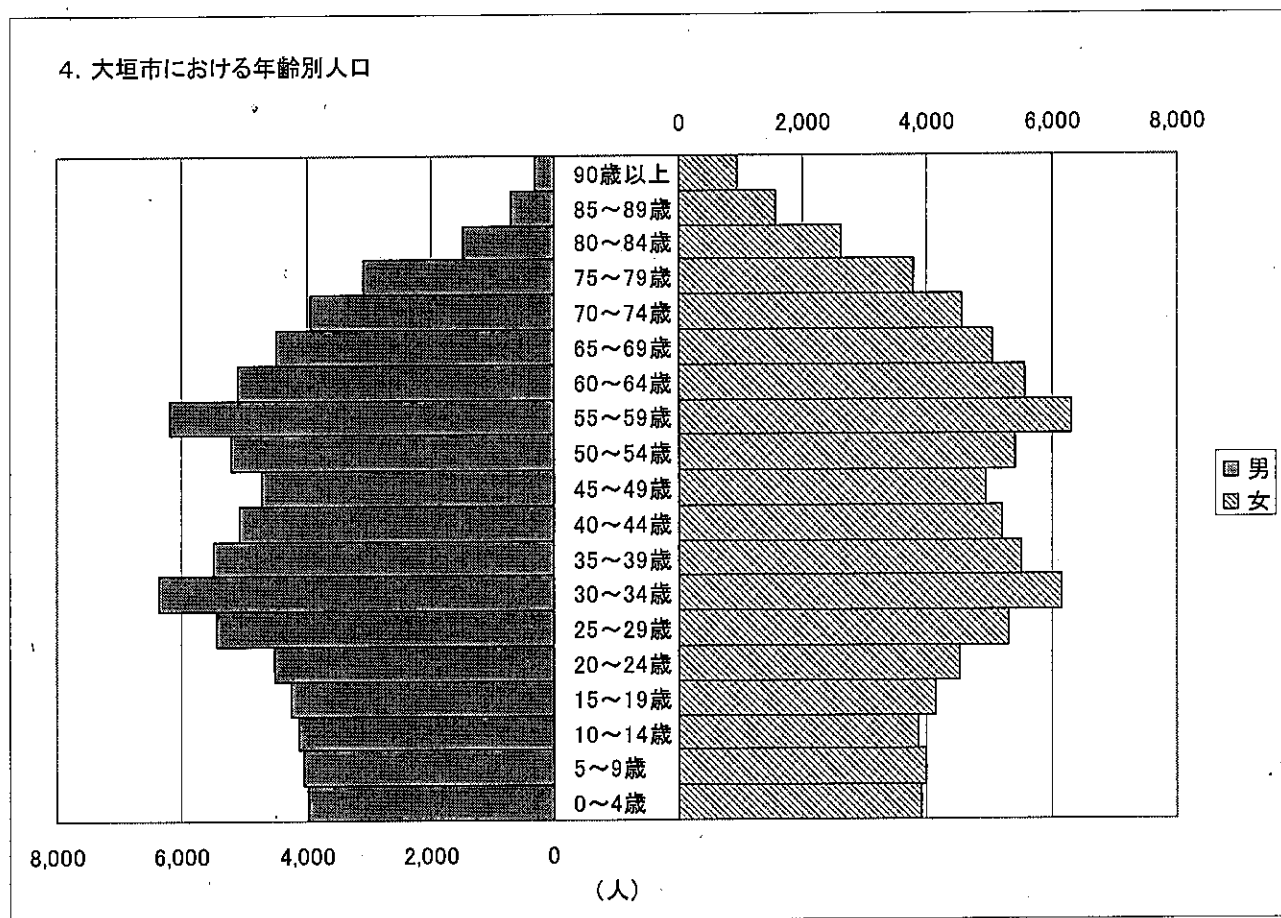
### 1-4. 大垣市における年齢別人口

(単位：人、%)

年齢	男	女	人口	年齢	男	女	人口
0～4歳	3,960	3,918	7,878	55～59歳	6,198	6,316	12,514
5～9歳	4,053	4,002	8,055	60～64歳	5,111	5,564	10,675
10～14歳	4,128	3,860	7,988	65～69歳	4,494	5,050	9,544
15～19歳	4,260	4,137	8,397	70～74歳	3,945	4,555	8,500
20～24歳	4,519	4,539	9,058	75～79歳	3,083	3,776	6,859
25～29歳	5,446	5,298	10,744	80～84歳	1,474	2,609	4,083
30～34歳	6,363	6,173	12,536	85～89歳	706	1,564	2,270
35～39歳	5,493	5,510	11,003	90歳以上	326	930	1,256
40～44歳	5,080	5,217	10,297	不詳	80	40	120
45～49歳	4,724	4,937	9,661	総数	78,662	83,408	162,070
50～54歳	5,219	5,413	10,632				

(資料：H17 国勢調査)

4. 大垣市における年齢別人口

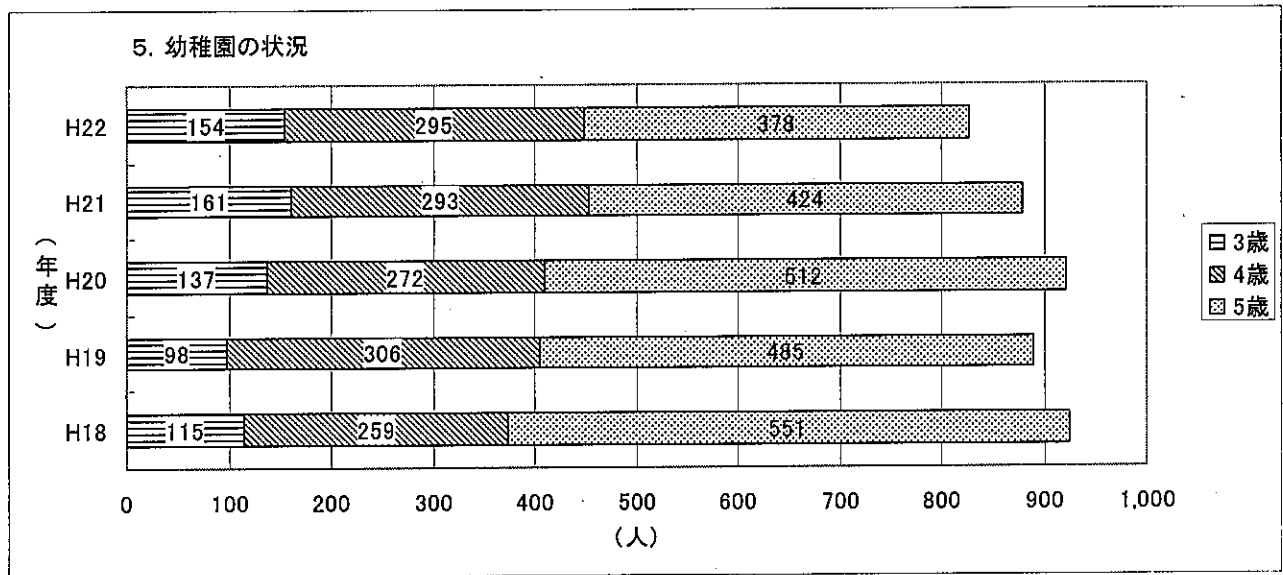


# 1-5. 幼稚園の状況

(単位：人)

区分	H18	H19	H20	H21	H22
3歳	115	98	137	161	154
4歳	259	306	272	293	295
5歳	551	485	512	424	378
合計	925	889	921	878	827

(資料：学校基本調査)

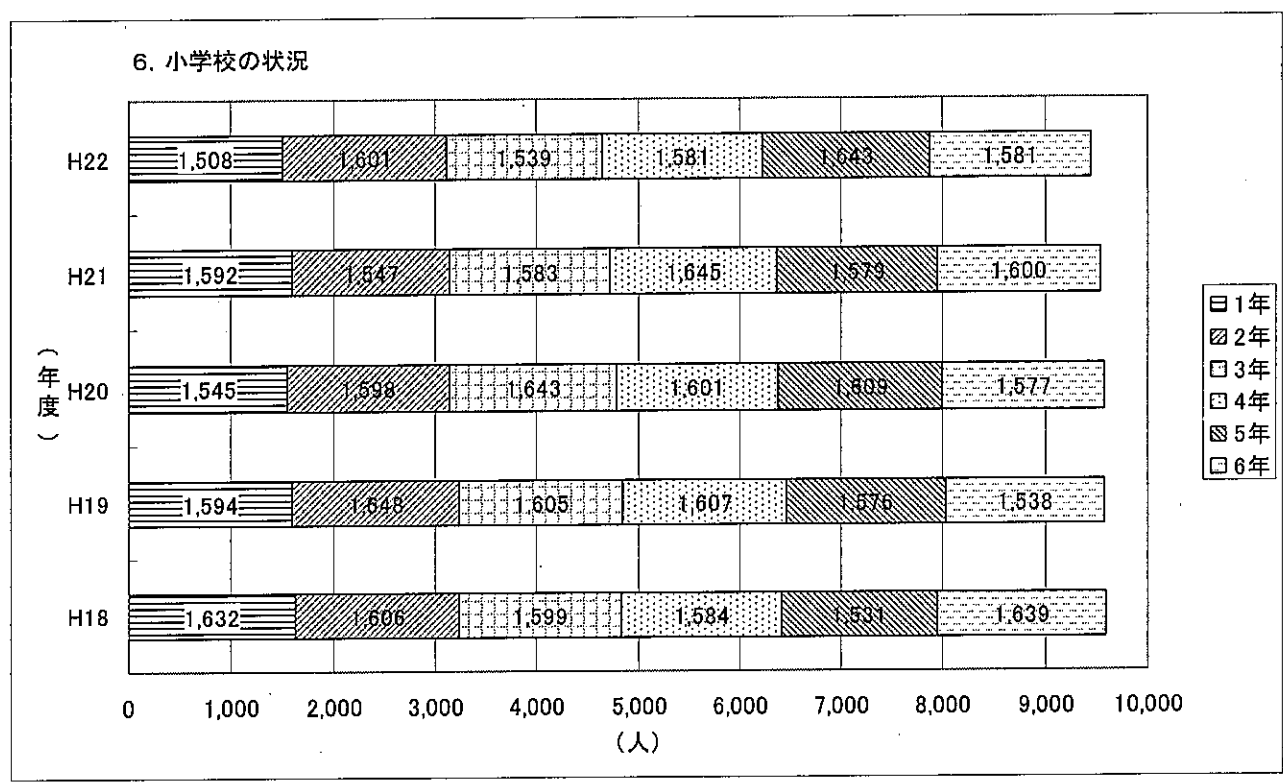


# 1-6. 小学校の状況

(単位：人)

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
H18	1,632	1,606	1,599	1,584	1,531	1,639	9,591
H19	1,594	1,648	1,605	1,607	1,576	1,538	9,568
H20	1,545	1,598	1,643	1,601	1,609	1,577	9,573
H21	1,592	1,547	1,583	1,645	1,579	1,600	9,546
H22	1,508	1,601	1,539	1,581	1,643	1,581	9,453

(資料：学校基本調査)

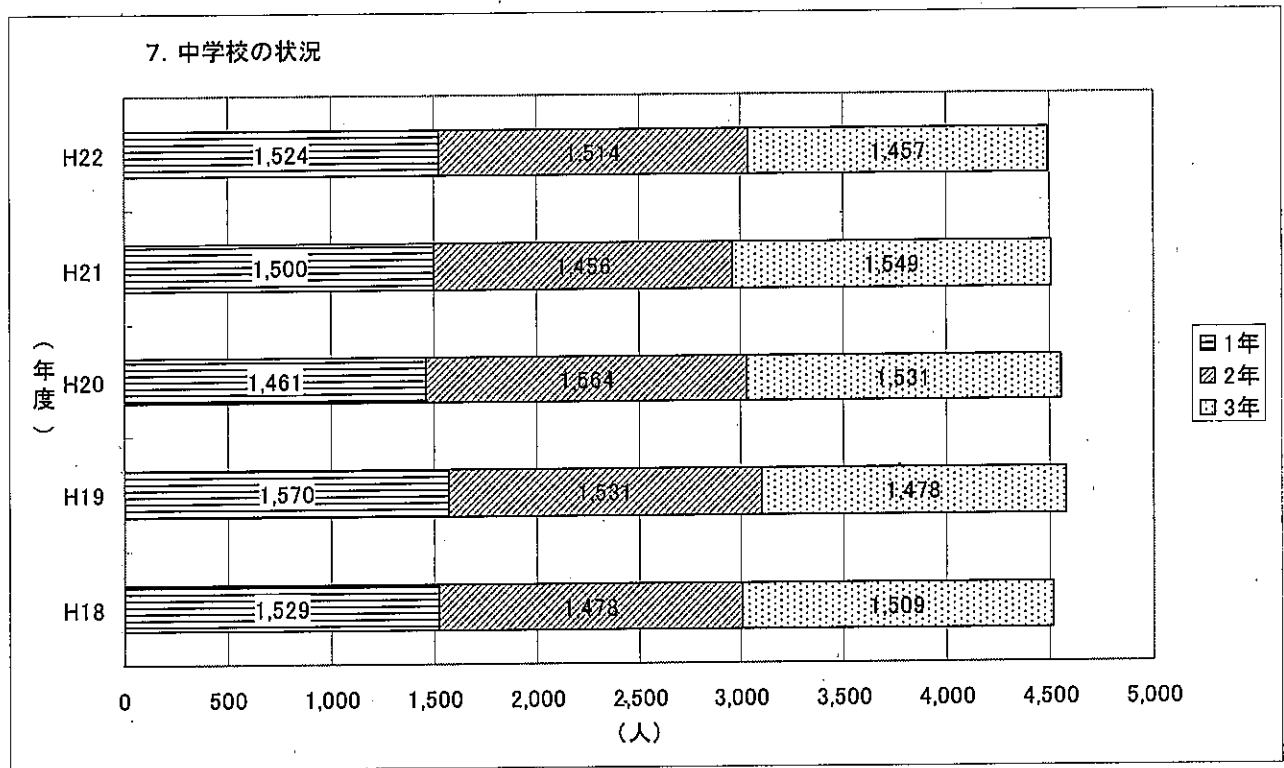


1-7. 中学校の状況

(単位：人)

区分	H18	H19	H20	H21	H22
1年	1,529	1,570	1,461	1,500	1,524
2年	1,478	1,531	1,564	1,456	1,514
3年	1,509	1,478	1,531	1,549	1,457
合計	4,516	4,579	4,556	4,505	4,495

(資料：学校基本調査)





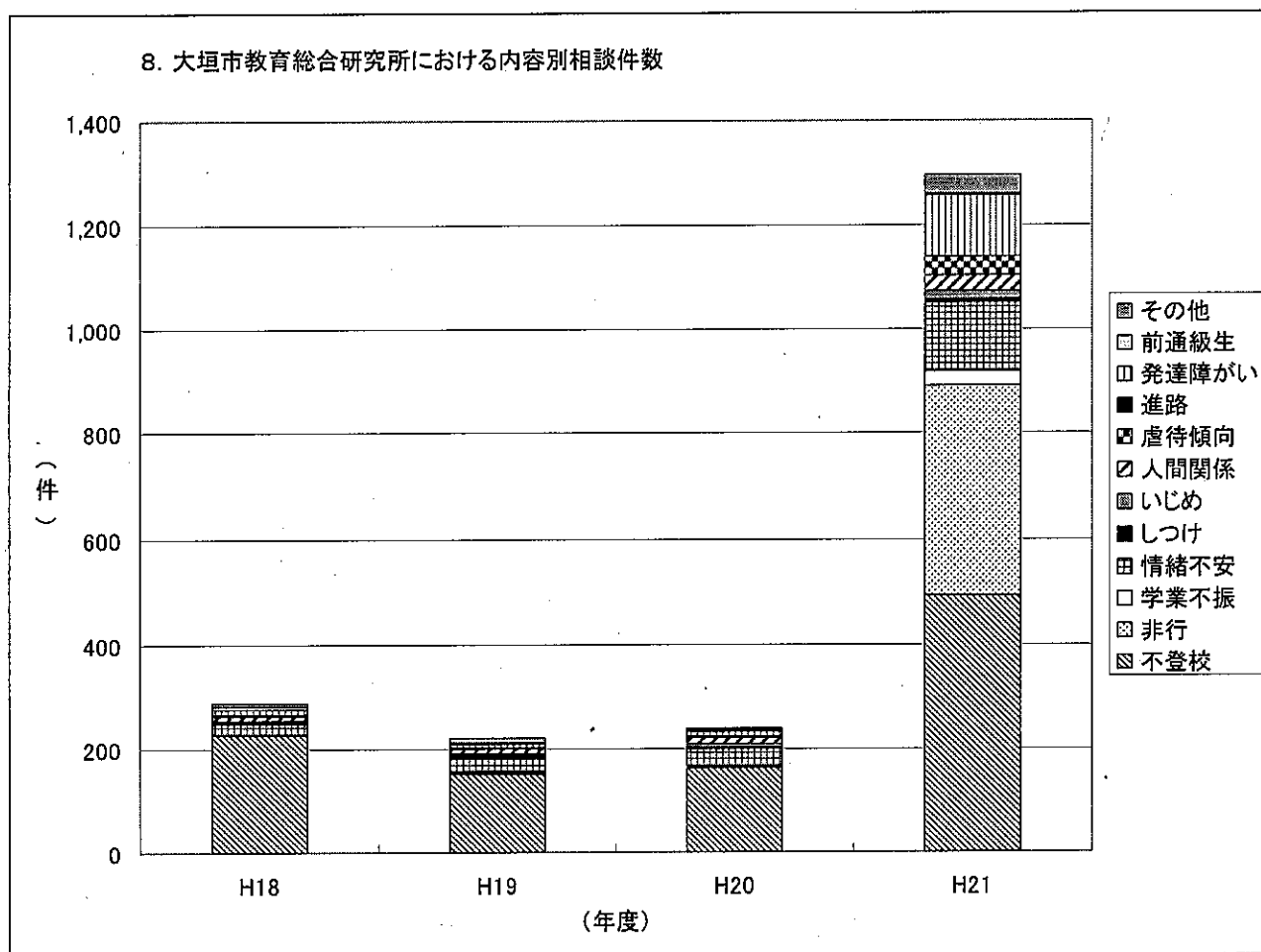
### 1-8. 大垣市教育総合研究所における内容別相談件数

(単位：件)

区分	H18	H19	H20	H21
不登校	226	153	165	494
非行	0	1	1	397
学業不振	1	4	1	26
情緒不安	22	24	32	135
しつけ	3	8	4	7
いじめ	4	1	5	13
人間関係	7	9	13	31
虐待傾向	2	0	1	35
進路	1	2	1	0
発達障がい	11	6	9	119
前通級生	5	3	3	3
その他	5	11	4	36
合計	287	222	239	1,296

(資料：大垣市教育総合研究所)

※ 平成 21 年度より研究所組織改編により教育相談係に加え、少年支援係を新設したため、相談件数が大幅に増加した。



### 1-9. 大垣警察署管内の少年の検挙・補導状況

(単位：人)

区分		H18	H19	H20	H21	
非行少年	刑法犯罪少年	犯罪少年	224	212	214	192
		触法少年	26	31	28	34
		小計	250	243	242	226
	特別法犯少年	犯罪少年	1	7	3	3
		触法少年	0	2	0	1
		小計	1	9	3	4
	ぐ犯少年		2	1	5	7
	合計		253	253	250	237
不良行為少年		8,414	6,938	8,567	6,430	

(資料：大垣警察署)

- ※ 刑法犯少年 刑法に定める罪を犯した犯罪少年と刑法に触れる行為をした触法少年を合わせたものをいう。(殺人・強盗・放火・強姦・暴行・傷害・窃盗・詐欺など)
- ※ 特別法犯少年 刑法以外の法令違反をした犯罪少年と触法少年を合わせたものをいう。(自転車盗・万引き・侵入盗など)
- ※ 犯罪少年 14歳以上20歳未満で罪を犯した少年をいう。
- ※ 触法少年 14歳未満で刑罰法令に触れる行為をした少年をいう。
- ※ ぐ犯少年 将来罪を犯し、又は刑罰法令に触れる行為をするおそれのある少年をいう。
- ※ 不良行為少年 非行少年には該当しないが、喫煙や深夜徘徊など自己や他人の徳性を害する行為をしている少年をいう(夜遊び、怠学、飲酒、喫煙など)

### 1-10. 大垣警察署管内の刑法犯少年の学職別状況(平成21年中)

(単位：人)

		小学生以下	中学生	高校生	その他学生	有職少年	無職少年	合計
凶悪犯		0	0	0	0	0	0	0
粗暴犯		0	5	6	0	0	2	13
窃盗犯	万引き	4	55	29	4	3	8	103
	乗り物盗	0	12	10	1	2	10	35
	その他	0	10	6	1	2	0	19
	小計	4	77	45	6	7	18	157
知能犯		0	0	1	0	1	0	2
風俗犯		0	0	0	0	0	0	0
その他		1	20	23	6	2	2	54
特別法犯	薬物事犯	0	0	1	0	0	0	1
	その他	1	0	1	0	1	0	3
	小計	1	0	2	0	1	0	4
ぐ犯		0	4	0	0	2	1	7
合計		6	106	77	12	13	23	237

(資料：大垣警察署)

- ※ 凶悪犯 残忍な犯罪(殺人・強盗・放火・強姦など)
- ※ 粗暴犯 暴力によって他人に損害を与えた犯罪(暴行・傷害・脅迫・恐喝・凶器準備集合など)
- ※ 知能犯 主として知能を使ってなされる犯罪(詐欺・横領・偽造・汚職・背任など)
- ※ 風俗犯 社会公共の善良な風俗を乱す犯罪(売春・賭博・わいせつなど)

## 2 大垣市教育振興基本方針策定のための市民アンケート調査結果～抜粋～

### 2-1. 調査目的

今後の大垣市教育の道しるべとなる「大垣市教育振興基本方針」策定の参考とするため、市内に居住する一般市民を対象に、「大垣市教育振興基本方針策定のための市民アンケート調査」を実施した。

### 2-2. 調査結果概要

- (1)対象者数 1,000人（無作為抽出）
- (2)調査対象 市内に在住する満18歳以上の男女
- (3)調査方法 郵送配布・郵送返送による郵送調査
- (4)調査期間 平成21年6月1日～6月20日
- (5)回収結果 516人（回収率51.6%）

### 2-3. 調査対象の属性

- (1)あなたの満年齢、性別について（平成21年6月1日現在）

項目	人数	構成比
18～29歳	76人	14.7%
30～39歳	89人	17.2%
40～49歳	102人	19.8%
50～59歳	110人	21.3%
60歳以上	138人	26.7%
未回答	1人	0.2%
合計	516人	100.0%

項目	人数	構成比
男性	228人	44.2%
女性	285人	55.2%
未回答	3人	0.6%
合計	516人	100.0%

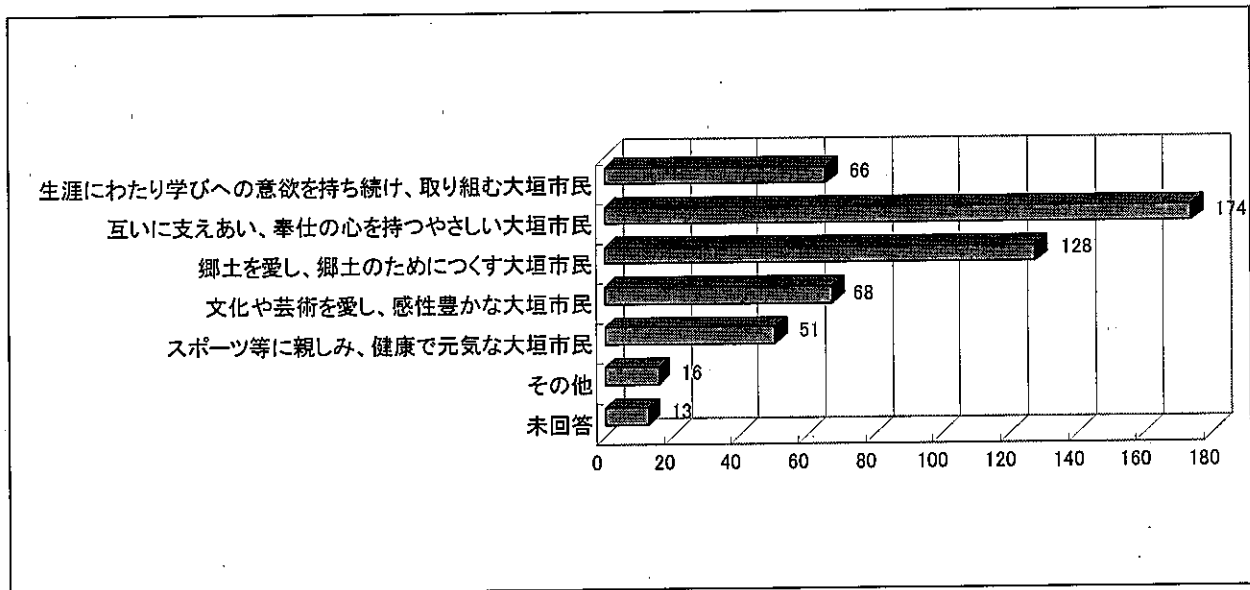
- (2)あなたが住んでおられる住所地は、どこですか？

項目	人数	構成比	項目	人数	構成比
興文地区	28人	5.4%	浅草地区	30人	5.8%
東地区	26人	5.0%	川並地区	25人	4.8%
西地区	34人	6.6%	中川地区	14人	2.7%
南地区	29人	5.6%	和合地区	18人	3.5%
北地区	35人	6.8%	三城地区	22人	4.3%
南杭瀬地区	6人	1.2%	荒崎地区	17人	3.3%
多芸島地区	22人	4.3%	赤坂地区	29人	5.6%
安井地区	17人	3.3%	青墓地区	26人	5.0%
宇留生地区	22人	4.3%	上石津地区	22人	4.3%
静里地区	30人	5.8%	墨俣地区	20人	3.9%
綾里地区	22人	4.3%	未回答	5人	1.0%
洲本地区	17人	3.3%	合計	516人	100.0%

## 2-4 調査結果と分析

(1)大垣市民のイメージに最もあうと考えられる姿は何ですか？

項目	人数	構成比
生涯にわたり学びへの意欲を持ち続け、取り組む大垣市民	66人	12.8%
互いに支えあい、奉仕の心を持つやさしい大垣市民	174人	33.7%
郷土を愛し、郷土のためにつくす大垣市民	128人	24.8%
文化や芸術を愛し、感性豊かな大垣市民	68人	13.2%
スポーツ等に親しみ、健康で元気な大垣市民	51人	9.9%
その他	16人	3.1%
未回答	13人	2.5%
合計	516人	100.0%

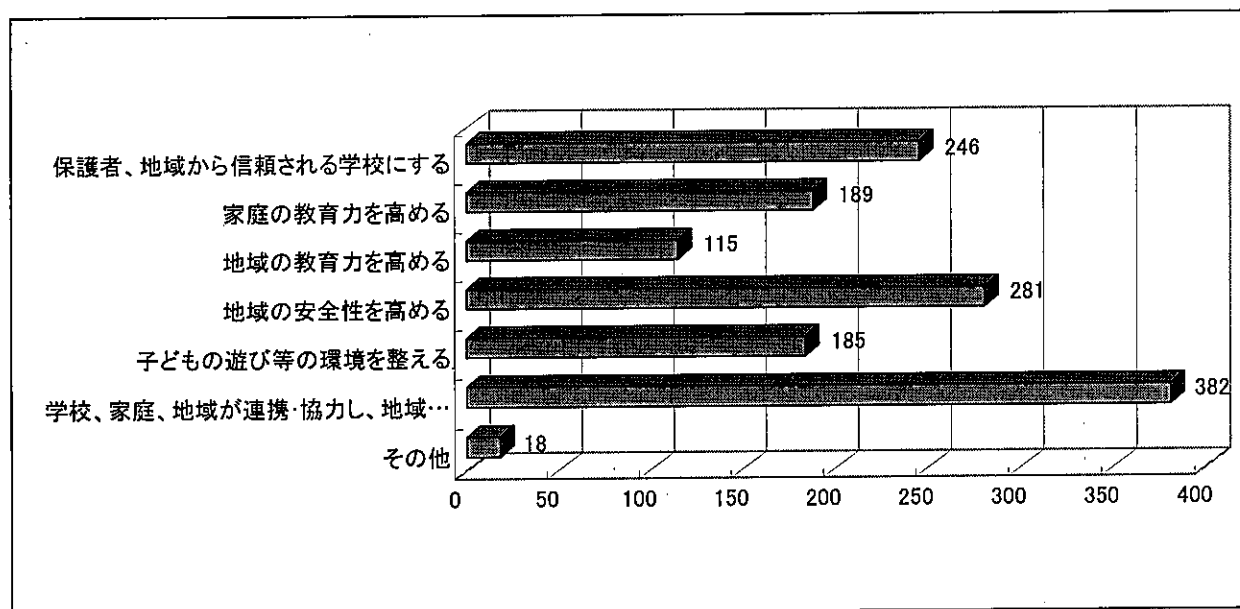


「互いに支えあい、奉仕の心を持つやさしい大垣市民」が最も多く約 34%、次いで、「郷土を愛し、郷土のためにつくす大垣市民」が約 25%、「文化や芸術を愛し、感性豊かな大垣市民」が約 13%となっている。

☞ キーワード 「奉仕の心」「まちづくりへの意識」「教育尊重」「豊かな感性」「やさしさ」「郷土愛」「共同意識」

(2)子どもたちが健やかに育つための環境づくりで、何が必要だと思えますか？  
(3つまで)

項目	人数	構成比
保護者、地域から信頼される学校にする	246人	48.9%
家庭の教育力を高める	189人	37.6%
地域の教育力を高める	115人	22.9%
地域の安全性を高める	281人	55.9%
子どもの遊び等の環境を整える	185人	36.8%
学校、家庭、地域が連携・協力し、地域ぐるみで子どもを守り育てる体制をつくる	382人	75.9%
その他	18人	3.6%
合計	1,416人	

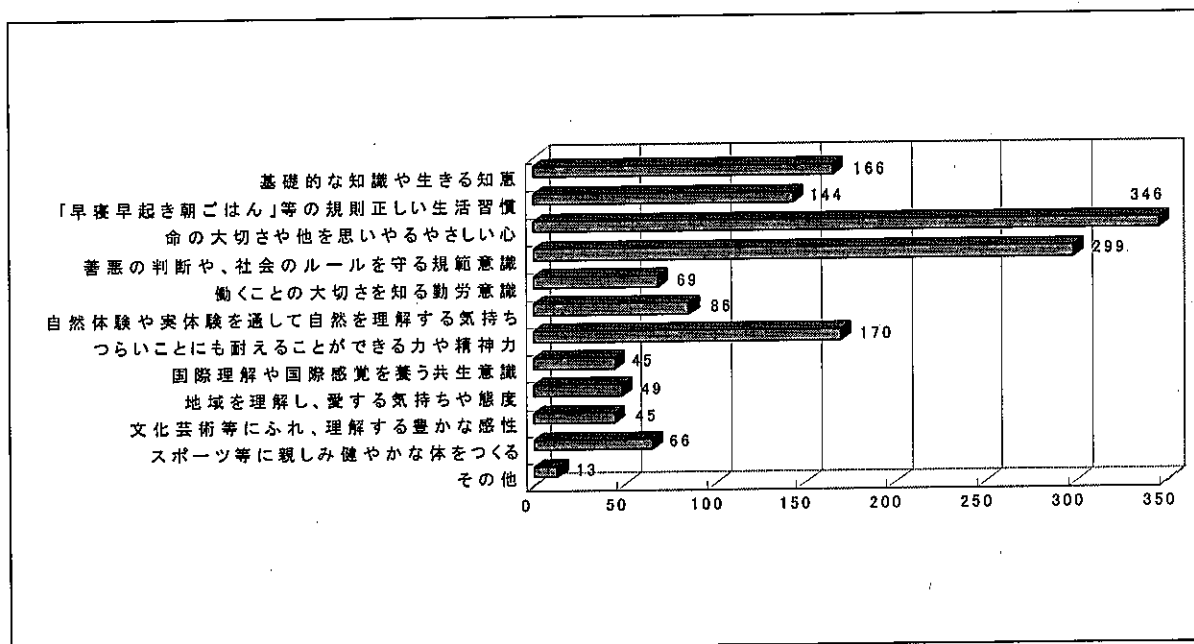


「学校、家庭、地域が連携・協力し、地域ぐるみで子どもを守り育てる体制をつくる」が約76%で最も高く、次いで、「地域の安全性を高める」が約56%、「保護者、地域から信頼される学校にする」が約49%となっている。

☞ 子どもに自立して社会で生きていく基礎を、学校、家庭、地域が連携協力して育てることが必要である

(3)子どもたちが健やかに育つために、どんなことを身につけるべきだと思いますか？（3つまで）

項目	人数	構成比
基礎的な知識や生きる知恵	166人	33.0%
「早寝早起き朝ごはん」等の規則正しい生活習慣	144人	28.6%
命の大切さや他を思いやるやさしい心	346人	68.8%
善悪の判断や、社会のルールを守る規範意識	299人	59.4%
働くことの大切さを知る勤労意識	69人	13.7%
自然体験や実体験を通して自然を理解する気持ち	86人	17.1%
つらいことにも耐えることができる力や精神力	170人	33.8%
国際理解や国際感覚を養う共生意識	45人	8.9%
地域を理解し、愛する気持ちや態度	49人	9.7%
文化芸術等にふれ、理解する豊かな感性	45人	8.9%
スポーツ等に親しみ健やかな体をつくる	66人	13.1%
その他	13人	2.6%
合計	1,498人	

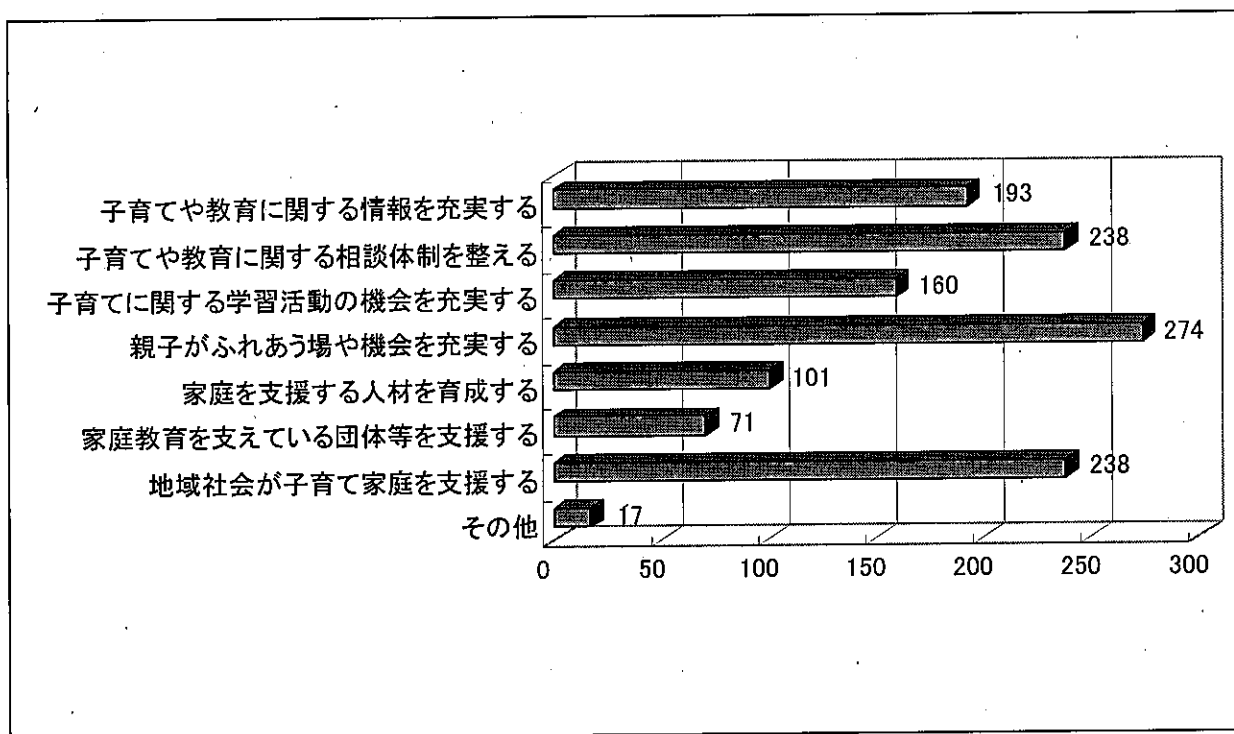


「命の大切さや他を思いやるやさしい心」が約69%で最も高く、次いで、「善悪の判断や、社会のルールを守る規範意識」が約60%、「つらいことにも耐えることができる力や精神力」が約34%となっている。

基本的倫理観、自制心や自立心を養うことが重要である

(4)家庭の教育力を高めるには何が必要ですか？（3つまで）

項目	人数	構成比
子育てや教育に関する情報を充実する	193人	38.4%
子育てや教育に関する相談体制を整える	238人	47.3%
子育てに関する学習活動の機会を充実する	160人	31.8%
親子がふれあう場や機会を充実する	274人	54.5%
家庭を支援する人材を育成する	101人	20.1%
家庭教育を支えている団体等を支援する	71人	14.1%
地域社会が子育て家庭を支援する	238人	47.3%
その他	17人	3.4%
合計	1,292人	



「親子がふれあう場や機会を充実する」が約55%で最も高く、次いで、「子育てや教育に関する相談体制を整える」「地域社会が子育て家庭を支援する」が約48%となっている。

☞ 子育てに関するソフト、ハードの環境整備が求められている

## 2-5. 教育に対する課題、今後の進むべき方向性などについての主なご意見・ご提案

### (1)10・20歳代 男性

- 私自身、中学生時代、思春期ということもあり、様々な悩みを抱えこんでいた時に、スイトピアセンターの悩み相談室にお世話になり、気持ちが落ち着いていきました。その節は本当に感謝しております。様々な教育問題、家族問題が取りざたされている今、悩みを抱える青少年は多いと思います。悩み相談の場を充実させ、悩みを相談しやすい環境を整えることが大切ではないかと思います。また、社会はグローバルな世の中へと近年変わっていきました。企業も海外の顧客を重点に置いています。そのため、小中高の教育段階で広い視野を持つ子どもを育てる必要が今後、一層必要になってくると思います。
- 現代は、親が子を甘やかすすぎ、過保護になりすぎている所があると思います。  
子どもたちへの教育も大切だが、親としての知識や、意識をしっかり持たせるための講習なども積極的に行うのはどうか。

### (2)10・20歳代 女性

- 先生へのゆとりを。家でできるべきことは家で！！
- 子どもの教育はまず家庭環境で大きく左右され作られている。子どもが健やかに伸び伸びとした環境の中で育っていけるよう、私たち保護者、地域が努めるべきだと思います。  
犯罪の多くなったこの世の中で、間違った方向性に進まないように守っていかねばいけない。
- 人の痛みがわかる子になるように教育していく方向を取ってほしいです。
- 優しい心、思いやりの心を持つように、子どもたちに育ってほしい。  
そのために、安全で、豊かな町づくりに協力していきたい。
- 親や近所が子どもに無関心すぎるのは良くない。希薄な人間関係が子どものSOSを見落とす危険性がある。

### (3)30歳代 男性

- 学校教育でなく社会(会社)についての勉強の場を提供して欲しい。
- 町の緑が減少していく中で、子どもが自主的に自然に触れる機会が無い。  
つくられた環境の中で育つのも案の一つであるが、自然の中から子ども自身が自分で学んでいくためにも、より自然と触れ合える自然に近い、学びの場や、施設を造っていただきたい。

### (4)30歳代 女性

- 格安で受講できる講座を開催してほしい。子どもたちが自然と触れ合えるような機会を提供して欲しい。
- 人が人に対して関心がないように思います。教育の一つとして「様子を見る」事があっても良いが、そのまま過ぎるのは、いけないと思います。親も子どもも、学校の先生方も、もう一度それぞれの立場、お互いの立場



で意見交換があっても良いと思います。どちらかといえば、一方通行になっているように思います。

- 仕事をしながらの子育ては大変だし、教育をする時間も少ない。学校が終わった後に、学校で色々な事を学べるといいと思う。
- まず、親への教育が必要だと考えます。子どもへの叱り方や、道徳、子どもは親の背中を見て育ちますから、まず、親業を取得し、勉強したい、させたいです。
- 自分の子ども時代と今とでは、あらゆる面で世の中自体が変化しすぎているので仕方がないのか・・・？と思う部分もありますが、今の子どもたちには、もっと家庭での教育を見直したほうが良いのでは・・・？と思う部分が多々あります。学習や習い事なども大切だろうかも知れませんが、その前に、子どもたちの人間性を高めていく教育が必要ではないでしょうか？と思います。現状としては、厳しいかと思われそうですが・・・。
- 最近、家庭における教育力の低下が気になります。子どもにどう接したら良いのか、どう育てていったら良いのかわからない親が多いと思います。親がふれあい笑い合える場を作り、地域社会が支援していくことが大切であると感じます。

#### (5)40歳代 男性

- 『勉強』は『学校』、『しつけ』は『家庭』といった、本来あるべき姿がなくなりつつあるように感じている。
- 家庭にもっと責任を持たせるよう自覚させる必要あり。
- ただ講座などを開催するだけではなく、問題がありそうな家庭には特に、地域や行政などが向き合って支援、指導が出来る体制が理想である。
- 親のモラルの低下(モンスターペアレント)  
毅然とした態度で皆で立ち向かい、常識が守られる社会にする。規則に縛られすぎ。  
臨機応変に柔軟な対応を取る。心の通じる人間関係、対応をとらない限り、世の中が良くなることは無いと思う。

#### (6)40歳代 女性

- 親が学習すべきだと思う。無関心すぎる親、過保護すぎる親、どちらも子どもは育たない。親が親として成長していないのだろうか。

#### (7)50歳代 男性

- 母子家庭・父子家庭に対する経済的支援や、子育て家庭に対する支援を今以上に充実する必要がある。家庭生活の安定が、家庭の教育力を育てると考える。学校・教師への無理な依存や、責任追求は、理解できない。子育てや、非行防止は、家庭教育、親の責任が第一であることを理解させたい！
- 子どもにとって最大の教材で、身近な教師は地域で見守ってくれている先達たちです。この人たちと触れ合える様な仕組みを考え、しっかりと準備することが子どもたちの力を引き出すことにつながると確信しています。

## (8)50 歳代 女性

- 親子が触れ合う場所は家庭だと思えます。夜回り先生の水谷修先生は、他人の子どものごとも真剣に受け止めて見えます。何でもいいからお手伝いさせて親のありがたみを知って欲しい。子どもの良さも認めてあげたいです。今は生活に追われて、どの世代も大変ですが、地域でも皆さんがひとつになって支えあえたらうれしいです。
- 老人、中年、若者、子ども、幼児、乳児等の「たて」の線が合理的に活動できる場所や、時間の共有ができると、いろいろな知恵や生活のレベルが向上すると思う。
- 教育はまず父、母から始まります。基本が出来てなくては何も生まれません。特に父親の教育参加を重視したい。企業と行政が連携をし、子どもを育てられる環境作りを望みます。
- 放課後の学校や地区センターなどを子育て支援に活用することを望みます。
- 子どもたちには、心の教育など必要に応じては講師を招き、講演を開催するなど多く望みます。地域の人たちとのふれあいの場も多く持つとなお良いと思えます。
- 互いに支えあい、助け合うような思いやりのある子どもたちを育てるべきだと思う。障がい児への理解を、教育する立場の人も知識を増やすべきではないか。そして、思いやりのある子どもたちを育て、互いに学び合えるのも必要だと思う。
- きれいな事で終わらせない。何かをしたという達成感をもつようにしたい。持てる子どもになって欲しい。平等の意味をよく考えてみたい。

## (9)60 歳代 男性

- 子どもの教育は本来親の責任であると思えます。しかし経済的に厳しい現在、ゆとりのある家庭は問題ないが、経済的に苦しい家庭の教育をどうするかが重要であろうかと思えます。  
『提案』子どもの教育が難しい家庭に焦点を当てた施策を充実する。教育者(学生、社会人、シニア)をボランティアに集い、地域単位に実施するのがベター(寺子屋のイメージ)  
子どもの好きな分野でグループ分け(科目、科学、スポーツ等)きめ細かく行うことが大切
- 30代、40代の教育が一番必要ではないかと思う。以前スポーツ少年団で指導していたとき、子どもたちより前記世代の親が権利は主張するが義務感がないように感じました。
- 現今の子どもは学校の教育、家庭での躰、教育等の学校で教えるべきこと、家庭で教えるべき事、全部丸投げで学校が、教師が教えるべきだという風潮がある気がしてならない。家庭での教育、躰など、家庭での親のやるべきことがたくさんある筈だ。
- 登下校中における挨拶。地域を一体化した運動会(できればお祭りに参加)
- 保護者の意識改革。善悪が理解できる子どもを育てる。
- 時代が大きく変化しても、リーダーとして、一市民として生きていける人間性豊かな人づくりが望ましいと思えます。小中高で年令にあわせ、し

っかりたたき込み、大垣、日本、世界のリーダーに成り得る人づくりを目指します。

- 教育は各家庭で独自にしか努力して、するしかない。親がしっかりして望まなければ地域などに頼っても仕方がないと思う。
- 近所のお子様たちと近隣の大人が一言でも良いので、声をかけるという方向で進めていければ、良いのではないのでしょうか。
- まず足元を見れば倫理、道徳を含めた親の教育が(意識改革)必要であろう。何せ親の倫理、道徳がひどすぎる。子どもの教育は親が主導するのが筋だと思う。江戸時代のような寺子屋方式が、良いと思います。

#### (10)60 歳代 女性

- 子どもの人格を認めて叱るよりも、ほめる事の方が大切だと思います。
- 縦割りの中で思いやり、労い等を目覚めさせれると良いですね。
- 道徳に属すると思いますが一般常識、マナーなど小さいときから身に付けると思います。例えば友達の家に行って、家の人に挨拶、靴は揃えるなど親がしつけないといけないと思いますが、親自体が出来ないので子どもにしつけられない人が多いと思うのです。
- 他府県から嫁いできた私にとっては少し閉鎖的なところもありますが、なかなかまとまって良い市だと思います。小さな子どもを持つお母さんから聞くのですが、各地区センターに児童館(図書館の小規模のもの)を作って欲しいとの事を要望されました。(保育園や幼稚園に行く前の子育て支援)
- 教育者共に**地区全体**が一つになり(子ども、大人が一体となって)さまざまな活動が必要だと思う。まず**大人が見本**を見せなければいけない。
- 子どものころの教育が一番大事だとつねづね考えています。「三つ子の魂百まで」という諺があるように、善悪、生死、犯罪、先輩(大人、老人等)を敬うなど、人間が生きていくための基本的なことを、幼稚園、小学校で、繰り返し教えていくことが大切だと思います。繰り返すことで頭の中に残るのではないかしら・・・。
- 自然環境**の中での活動(遊び、奉仕活動等)を増やし(河川、山岳、海等)自然を愛し、大事に思う心を養う。

### 3 大垣市の家庭教育・青少年健全育成関係事業の現況

#### 3-1. 子育て支援

##### 1. 次代の親の育成

###### (1) 子育て意識の醸成

###### ①親育ちへの学習機会の提供

乳幼児家庭教育学級事業等において親育ちへの学習機会を提供。

- ・乳幼児家庭教育学級事業
- ・家庭教育支援総合推進事業（妊娠期子育て講座）

###### ②子育て講座等の開催

家庭教育支援総合推進事業等を実施する。

- ・家庭教育学級事業
- ・家庭教育支援総合推進事業（妊娠期・学童期・思春期子育て講座）

###### ③家庭の教育力・子育て力を高める情報の提供

家庭教育学級事業において家庭の教育力・子育て力を高めるための情報の提供。

- ・乳幼児家庭教育学級事業
- ・家庭教育学級事業

###### (2) 男性、地域の子育て意識の醸成

###### ①男性の子育て等の促進

家庭教育学級事業等において男性、地域の子育て等を促進。

- ・家庭教育学級事業
- ・家庭教育支援総合推進事業（父親が参加する講座、中高生が参加する講座）

###### ②家庭の日（毎月第3日曜日）の推進

家族がふれあう「家庭の日」について、活動内容の充実と周知徹底を図る。

- ・青少年育成推進員事業
- ・明るい青少年都市市民会議事業

##### 2. 子どもの活動の場の充実

###### (1) 学び場の整備・充実

###### ①子ども・親子向け講座・教室等の拡充

子ども・親子を対象とした各種教室・講座を、身近な地域施設において実施する。また、子ども・親子で気軽に参加できるイベントの充実を図る。

- ・スイトピア子どもクラブ
- ・家庭教育学級事業
- ・家庭教育支援総合推進事業（親子子育て講座、親子料理教室、親子宇宙夢スクール事業等）
- ・親子ふれあい教室

## (2) 地域活動を通じた交流機会の充実

### ①まるごと土曜学園等の地域活動の推進

まるごと土曜学園等の活動の更なる充実を支援することにより、地域ぐるみで土曜日の子どもの居場所をつくとともに、さまざまな体験活動の機会を提供する。

- ・大垣まるごと土曜学園事業
- ・商い体験事業

### ②子ども会・青少年団体活動の活性化

子ども会やジュニアリーダーズクラブ、スポーツ少年団、各種団体などの活動及び、地域での異年齢による活動など交流を図る。

- ・子ども会育成事業
- ・子ども会リーダーズスクール事業
- ・少年リーダー育成事業

### ③ウィークエンドファミリースクール事業の推進

週末を利用した自然体験講座を実施し、親子がふれあう機会や子どもが自然とふれあう機会を提供する。

- ・ウィークエンドファミリースクール事業

### ④長期休暇期間の児童の居場所づくり

夏休み科学教室や天体観測会、上石津での活動などを実施し、夏休みなどの長期休暇期間中における子どもの居場所づくりを推進する。

- ・家庭教育支援総合推進事業（親子子育て講座、親子料理教室、親子宇宙夢スクール事業等）
- ・ウィークエンドファミリースクール事業
- ・スイトピア子どもクラブ事業

### ⑤ボランティア体験や学習の機会の充実

全市一斉ふれあいクリーン活動（5月、10月の家庭の日）を自治会、子ども会の協力のもと行う。

- ・明るい青少年都市市民会議事業

## 3. 子どもの教育の充実

### (1) 子どもの意見の尊重

#### ①子どもの意見表明の場づくり

市民に少年の意識等に対する理解を求めるために、少年が日頃実践したり考えたりしていることなどを発表する「大垣市少年の主張大会」を開催する。

- ・明るい青少年都市市民会議事業

### (2) 教育環境の整備

#### ①地域ぐるみの教育の実施

大垣まるごと土曜学園事業において地域協働型事業の実施

- ・大垣まるごと土曜学園事業

②飲酒・喫煙・薬物乱用防止への教育の推進

薬物に関する正しい知識を広め、乱用を許さない社会環境づくりを推進する。

4. 子育て環境の充実

(1) 放課後児童対策の充実

①留守家庭児童教室の内容の充実

対象年齢の引き上げ、開設日の拡充などを行い、教室内容の充実を図る。

・留守家庭児童教室事業

②留守家庭児童教室の障害のある児童の受入

指導員の加配を行うとともに、資質向上を図る。

・留守家庭児童教室事業

③まるごと土曜学園等の地域活動の推進

土曜日に、地域が一体となって子どもを育てる活動（講座・講演・体験・奉仕・見学）の推進を図る。

・大垣まるごと土曜学園事業

(2) 地域ぐるみの子育ち・子育て支援の促進

①子育てボランティアの育成

子育て中の親などに対する支援者（子育てサポーター）の養成講座を実施する。

・家庭教育支援総合推進事業（子育てサポーター養成講座）

・乳幼児家庭教育学級研修会

②子育て人材バンクの整備

家庭教育支援総合推進事業において人材教育の場を提供し、育成と人材バンク化を図る。

・家庭教育支援総合推進事業（託児ボランティア）

③地域活動の連携支援

地域の交流と親子のふれあいを深めるため、綱引大会、たこあげ大会などの大垣市子ども会育成連絡協議会主催事業に対して支援する。

・子ども会育成事業

(3) 子育て情報の提供

①子育て情報誌の充実

各種サービス・相談、イベントなど、子育て情報が一目でわかる子育て情報誌

「この指とまれ」を発行（年4回）。

・子どもセンター事業

### 3-2. 青少年健全育成

#### 1. 家庭や地域社会での青少年健全育成

##### (1) 青少年を育てるための健全な家庭づくりの推進

###### ①「家庭の日」の普及と家族のふれあいの促進

家庭の絆を深めるための機会として、「家庭の日」（毎月第3日曜日）の活動の一層の普及推進に取り組むとともに、家族や親子がそろって参加できる地域のふれあい活動を推進し、親と子がきちんと向き合い、適切な人間関係を築けるよう支援する。

- ・青少年育成推進員事業
- ・明るい青少年都市市民会議事業

##### (2) 青少年が主体的に参画できる地域活動の推進

###### ①家族の教育機能に対する支援

家庭の教育力の向上を図るため、家庭教育学級などの保護者に対する学習機会を充実させるとともに、研修等により家庭教育の指導者の資質向上を図る。

- ・家庭教育学級事業
- ・家庭教育支援総合推進事業

###### ②青少年団体活動の促進

子ども会やジュニアリーダーズクラブ、VYS、ボーイスカウト、ガールスカウトなど、市内で活動する青少年団体に対して、様々な活動の支援を行い、より多くの青少年の参画を促進し、活動の活性化を図る。

- ・子ども会育成事業
- ・少年リーダー育成事業

###### ③体験活動機会や家庭教育支援に関する情報サービスの提供

体験活動機会の情報や家庭教育の支援に関する情報を収集・提供する事業を行い、子どもの地域における様々な体験活動を充実させ、家庭教育を支援する。

- ・子どもセンター事業

##### (3) 青少年の居場所づくりの推進

###### ①地域の身近な場所での居場所づくり

休日等に子どもが地域の人々と交流しながら活動できる「まるごと土曜学園」を推進する。また、放課後や土曜日の一部などにおいて、家庭に保護者がいない子どもが安全に過ごせる場所として、留守家庭児童教室を開設する。

- ・大垣まるごと土曜学園事業
- ・留守家庭児童教室事業

## ②青少年施設の充実と利用促進

青年の家等の青少年教育施設における野外活動や体験活動をさらに充実させ、青少年の豊かな人間性を培うとともに、その他社会教育施設においても青少年が気軽に参加できる体験活動を推進する。

- ・青年の家管理事業
- ・奥養老管理事業
- ・青少年憩の森管理事業

## (4) 青少年育成団体との連携

### ①大垣市明るい青少年都市市民会議との連携の推進

青少年の健全育成及び社会環境浄化について、広く市民の理解を深めるとともに、家庭・学校・地域が一体となった実践活動を、一層推進する。

- ・青少年育成推進員事業
- ・明るい青少年都市市民会議事業

## (5) 青少年の規範意識、協調性を育む支援

### ①自己責任意識の涵養

青少年が自ら判断し行動する力や、社会の構成員としての規範意識や責任意識を身につけるのを手助けするため、中学生・高校生などを対象としたリーダー養成事業を行うなど、様々な機会において青少年の自主的な活動を支援する。

- ・子ども会リーダースクール事業
- ・少年リーダー育成事業

### ②共感・共生意識の涵養

他者への思いやりや他者との協調性を忘れてはならないという認識を青少年が自ら抱くことができるよう、様々な年齢の集団で協力しながら行う体験活動や人権教育・啓発、環境教育などを通じて、共感・共生意識や社会性、協調性の涵養を支援する。

- ・子ども会リーダースクール事業
- ・「少年の船」派遣事業

## (6) 地域コミュニティの再生、地域教育力の再構築

### ①地域教育力の再構築

地域において子育て支援活動に取り組む「子育てサポーター」の養成や、地域の子どもを見守り気軽に声をかける「地域のおじさん・おばさん」運動を推進するなど、地域全体で子どもを育てる担い手の養成と意識の醸成を図るとともに、地域の人々が関わり、地域全体で子どもを育てる場や機会づくりを進めることにより、地域の教育力の再構築を図る。

- ・家庭教育支援総合推進事業（子育てサポーター養成講座）
- ・青少年育成推進員事業
- ・明るい青少年都市市民会議事業



## (7) 学校と地域の連携促進のためのシステムづくり

### ①地域ぐるみで児童生徒の安全確保

さわやかみまもり Eye(アイ) や「地域のおじさんおばさん運動」による通学路等の巡回・見守り活動など、学校と家庭・地域住民・関係機関が連携し、地域ぐるみで児童生徒の安全を確保する取り組みを推進する。

- ・少年支援員事業
- ・青少年育成推進員事業
- ・明るい青少年都市市民会議事業

## 2. 社会環境の整備

### (1) 非行防止活動の強化

#### ①非行防止活動の強化

少年支援員等との連携のもと、非行少年の補導活動及び少年相談活動を積極的に展開し、少年非行の防止や早期発見、立ち直りを支援する。

また、非行防止活動の効果的な展開を図るため、警察や学校など関係機関の連携を深め、地域で非行問題に対処していく体制の構築を図る。

- ・少年支援員事業
- ・青少年育成推進員事業
- ・明るい青少年都市市民会議事業

### (2) 青少年のための相談機能の充実

#### ①相談機能の充実及び相談機関の連携強化

青少年やその保護者が抱える多様な相談内容に対応できるよう、相談機関の機能充実を進める。

また、問題の早期解決に向けて適切な対応ができるよう、相談窓口や専門機関の相互の連携体制強化に努める

- ・少年支援員事業

### (3) 健全な社会環境づくり

#### ①健全な社会環境づくりへ向けた市民意識の醸成

大垣市明るい青少年市民会議等の青少年健全育成団体や関係団体等と連携し、各地域における有害環境の浄化活動や啓発活動を推進するなど、様々な機会を通じて青少年が健全に育つ社会環境づくりへ向けた市民全体の意識の醸成を図る。

- ・少年支援員事業
- ・青少年育成推進員事業
- ・明るい青少年都市市民会議事業

## ②社会環境浄化活動の推進

岐阜県青少年健全育成条例に基づく有害図書類の周知や、書店や興行場への立入調査を行うとともに、業界・事業者との協力により、有害環境を排除する自主的な規制措置の促進を図る。

また、覚せい剤、麻薬、シンナー等の取締・監視を強化し、薬物の乱用を許さない社会環境づくりを推進する。

- ・少年支援員事業
- ・青少年育成推進員事業
- ・明るい青少年都市市民会議事業

## (4) 安全・安心な社会環境づくり

### ①青少年が安全に、安心して活動できる社会環境整備

青少年を対象とした犯罪の迅速な検挙に全力を挙げ、子どもに対する声かけ事案など犯罪の前兆行為の監視強化や、犯罪危険箇所を把握し、除去に努め、犯罪の抑止に努める。

また、地域住民やボランティアが行政、警察、学校等の関係団体と情報共有ができるようネットワークづくりを推進する。

児童虐待についても、西濃子ども相談センター、教育機関、医療機関、警察等関係機関の連携を深め、予防や早期発見、当事者の適切なケアを行う体制や取り組みの充実を図る。

- ・少年支援員事業
- ・青少年育成推進員事業
- ・明るい青少年都市市民会議事業

## 3-3. 生涯学習

### 1. 社会教育活動の充実

#### (1) 家庭の教育力の向上

##### ①家庭教育に関する様々な機会を活用した学習の提供

家庭教育学級事業において家庭教育に関する様々な機会を活用した学習の提供を図る。

- ・家庭教育学級事業
- ・家庭教育支援総合推進事業（親子子育て講座、親子料理教室、親子宇宙夢スクール事業等）
- ・親子ふれあい教室

##### ②地域ぐるみの家庭教育の推進

家庭教育学級事業において地域ぐるみの家庭教育の推進を図る

- ・家庭教育学級事業

##### ③子どもの居場所づくりの推進

土曜日の子どもの居場所をつくとともに、さまざまな体験活動の機会を提供する。

- ・大垣まるごと土曜学園事業
- ・スイトピア子どもクラブ事業

**④乳幼児家庭教育の充実**

乳幼児家庭教育学級の充実を図る

- ・乳幼児家庭教育学級事業
- ・家庭教育支援総合推進事業（親子子育て講座）

**⑤子育てサポーター及びリーダーの養成**

家庭教育支援総合推進事業においてサポーター及びリーダーの養成を図る

- ・家庭教育支援総合推進事業（子育てサポーター養成講座）